

所。とていまずかりけるいと成けり、

○按ズルニ、おほみやすん所トハ藤原明子ヲ指スナリ、清和天皇ノ朝ニ、御生母ナルヲ以テ皇太夫人トナリ、尋テ皇太后トナレリ、

〔伊勢集〕いづれの御時にかありけん、おほみやすん所と聞ゆるみつぼねに、やまとにおやある人さぶらひけり、おやいとかなしうゑて男なともあはせざりけるを、御息所の御せうととしごろいひわたり給、略○下

院御息所

○按ズルニ、此大御息所ハ、醍醐天皇ノ皇太夫人藤原温子ナリ、

〔天和物語〕故源大納言宰相におはしける時、京極のみやすどころ、○尙侍 皇子院 多の御賀つかうまつり給とて、かゝる事をなんせんと思ふ、さげ物一枝ふた枝せさせ給へど聞え給ひければ、ひげこをあまたせさせ給ふて、俊子にいろくくにそめさせ給ひけり、○宇も、いろくくにそめよりくみ何かと、みなあづけてせさせ給ひけり、

〔小右記〕寛仁三年四月十一日戊戌、去夜者左大臣○藤原 二娘 院御息所忽以己逝云々、心勞云々、

○按ズルニ、院トハ小一條院敦明親王ノ事ナリ、上皇ニアラズト雖トモ、名稱ノ同ジキヲ以テ茲ニ附載ス、